

第12回市民インディアカ大会

開催日：5月28日
主催：市インディアカ連盟（河野秀男会長）
会場：美和小学校体育館
参加チーム：9チーム

一般混合の部	一般女子の部
優勝 大川セイラA	優勝 チューリップ
準優勝 スーパー山方	準優勝 KIクラブ
第3位 美和ユニークスB	第3位 ビックロック



第13回市民ゴルフ大会

開催日：6月14日
主催：市ゴルフ連盟（大瀧愛一郎会長）
会場：水戸グリーンカントリークラブ
参加者：146人

	氏名	グロス	HDCP	ネット
優勝	吉澤 幸吉	89	21.6	67.4
準優勝	永田 至	92	24.0	68.0
第3位	五位 栄	81	12.0	69.0
第4位	木村 利治	70	0.0	70.0
第5位	菊池 良	92	21.6	70.4

ベストグロス 木村 利治 70 (36・34)



▲優勝した吉澤さん（写真右）

新収蔵品紹介 修復されよみがえった仏像

すべて形あるものは、時間の経過とともに傷み、壊れて行きます。しかし、人々が遠い昔から心のよりどころとしてきた品々や、優れた建物、美術・工芸品、私たちの歴史を知るための貴重な資料などは、しばしば修理・修復が施され、未来に遺す努力がはらわれてきました。そのおかげで、私たちは様々な時代の多様な文化財に接することができ、祖先の優れた技術・文化に感銘を受け、その精神世界や人々の生活に触れて歴史に思いを馳せ、我々の生きざまに活かすことができるのです。

写真の釈迦如来坐像は、平成20年に行った市内の祭礼調査の折に、氷之沢地区元沢集落で偶然発見されました。既に材木は腐り強度をなくして、一部は失われ、部材はバラバラで指や玉眼などは欠失、虫穴が無数に開いているという状態でした。管理者のご理解によって即日資料館に預かり、清掃と殺虫の応急処置を施して現状を記録しました。専門家に鑑定を依頼したところ、江戸時代前期の基準作に位置付けられる貴重な仏像と判明、修復やその方法が検討されることとなりました。

管理者を通じて集落に事情を説明

し相談していただいたところ、資料館で保管・管理して市民に広く公開してほしいと、仏像は資料館に寄贈されました。これを受けて仏像は平成22年度に修復され、このように美しく高い姿によみがえり、現在、資料館に展示されています。かつて、多くの人々がそれぞれの願いを胸にこのお釈迦様の前で手を合わせていた様子が、目に浮かぶようです。

市内には、まだまだ人知れず失われてゆく貴重な文化財があることでしよう。今回の大震災によって、この状況は急激に悪化していると思われれます。皆さんの回りにこのような文化財はありませんか？汚れ、壊れかけている文化財は、貴重には見えないものでも、「価値がない」などと判断せず、ぜひ資料館にご連絡ください。



▲修復後の釈迦如来坐像
〔寛文13年(1673)〕



▲清掃後、残っている部材を組み合わせた修復前の姿

歴史民俗資料館大宮館

☎ 52-11450